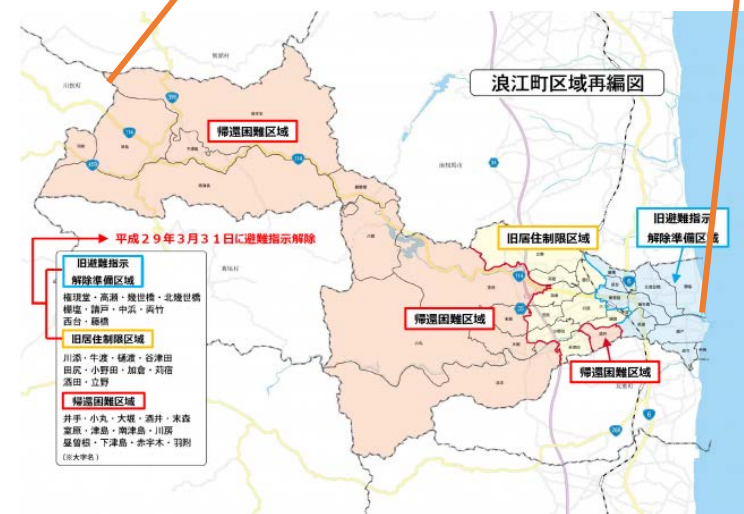


避難指示解除後の浪江町の状況

【2019年6月現在】

任意団体なみとも 代表 小林奈保子

- ①浪江町の状況
- ②住んでいて見えてくる浪江町
- ③ゲストハウスあおた荘と、なみともについて



面積：223.1km²
岩手県内だと陸前高田市より
ちょっと小さいくらい

＊自己紹介＊

生まれ：福島県田村市常葉町（阿武隈山系の真ん中）

実家：菌床栽培しいたけ農家

性格：好奇心旺盛、ぐーたら

大学時代：演劇や学生団体活動、

まちづくりに明け暮れる

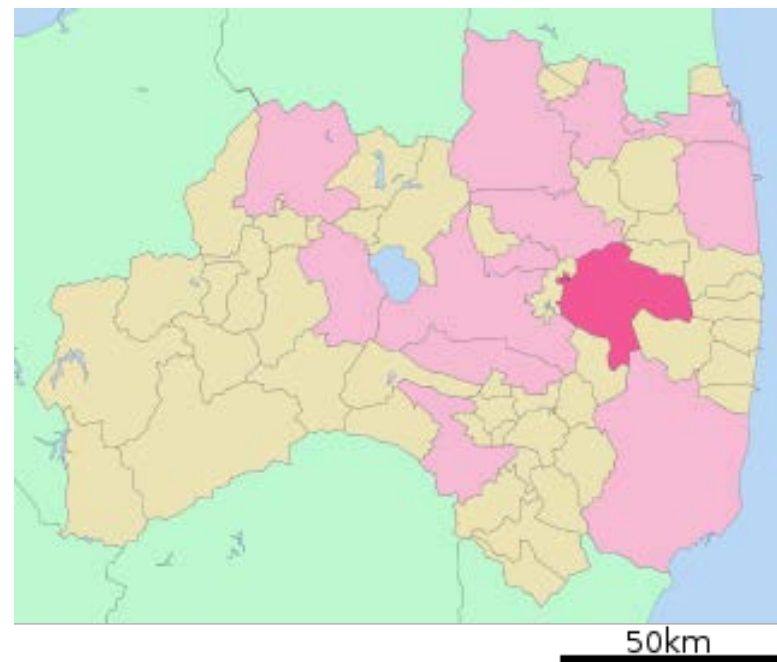
3.11：福島県郡山市で被災（福島県の真ん中）

2013年：田村市復興応援隊で復興支援員として働く

2015年：浪江町役場職員と結婚

2017年：応援隊を辞め、浪江町に転居し旦那と猫と住む

2018年：ゲストハウスあおた荘運営・なみとも設立





①双葉郡 浪江町

2011年3月11日発災
地震＋津波＋原発被災

- 15mを超える津波
- 原発事故による避難先は44都道府県に
- 6年後の2017年3月31日
一部避難指示解除

数字は2019年4月現在

震災時人口

21,434名

※現在の住民登録数は約18,000名

居住人口

1,008名

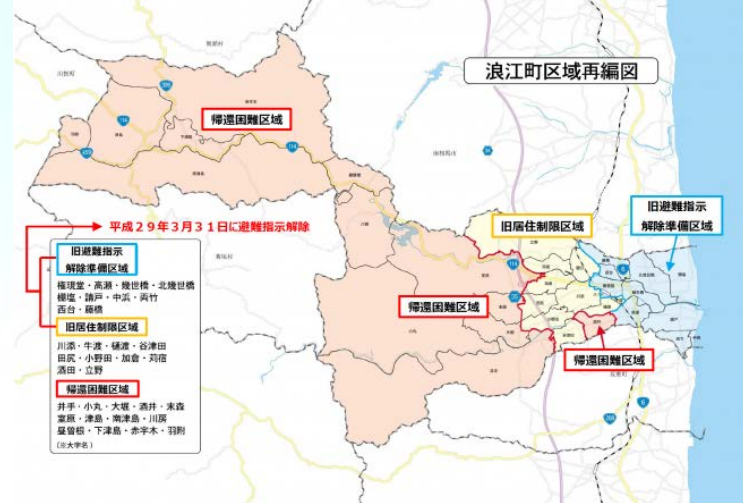
※帰還者には高齢者が多い

死者

182名

震災関連死

428名



浪江町区域再編図

帰還困難区域

旧避難指示
解除準備区域

権現堂・高瀬・幾世橋・北幾世橋
榑塩・請戸・中浜・両竹
西台・藤橋

旧居住制限区域

川添・牛渡・樋渡・谷津田
田尻・小野田・加倉・荻宿
瀧田・立野

帰還困難区域

井手・小丸・大堀・酒井・東森
家原・津島・南津島・川尻
屋管根・下津島・赤字本・羽附

(※大字名)

平成29年3月31日に避難指示解除

旧居住制限区域

旧避難指示
解除準備区域

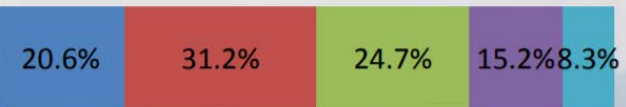
帰還困難区域

帰還困難区域

住民意向調査の結果

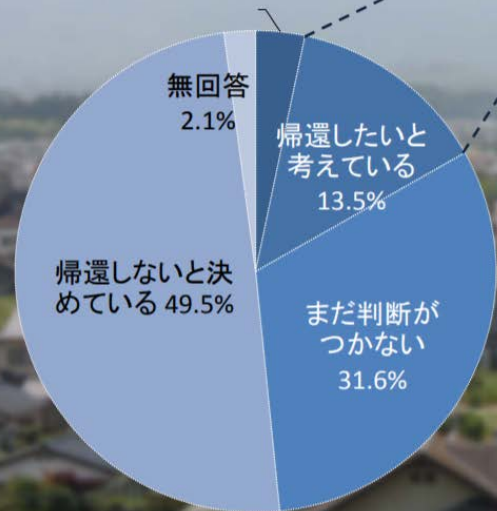
帰還の時期

■ すぐに ■ 5年以内 ■ 5年以降 ■ 分からない ■ 無回答



帰還の意向

すでに帰還している 3.3%



調査の概要

- ・調査対象 世帯の代表者 8,637世帯
- ・調査時期 平成29年12月11日～25日
- ・回収数 4,092世帯
- ・回収率 47.4% (前年度53.6%)

17

※「浪江町 復興レポート」から抜粋

<https://www.town.namie.fukushima.jp/uploaded/attachment/10049.pdf>

● 戻りたい/戻っている：約2割

● 戻らない：約5割

● 判断付かない：約3割

point: 迷っている・決めきれない方がまだたくさんいる現実

復興の歩み（9）教育環境



震災時 町内6つの小学校と3つの中学校に約1,700人

震災後 避難先の**全国約600**の小中学校に**約1,200人**

● 全校生徒：現在小中学校合わせ16名

point: 子どもが少なくてもできることがあるはず

平成23年8月 浪江小学校・浪江中学校が二本松市内で再開

平成26年4月 津島小学校が二本松市内で再開

平成30年4月 なみえ創成小学校・中学校（小・中併設校）開校

浪江にじいろこども園（認定こども園）開園

②住んでみて2年

■一番の課題は？って聞かれると困る

👉課題は山積、どれを取っても難題

■いったん0になった町だからできること

👉新しいチャレンジがしやすい

■町の様子はどんどん変わる

👉家屋解体・新しい建物・新事業・新産業

■移住者が移住者を呼ぶ町

👉移住政策は未整備でも、来る人は来る





* ゲストハウスあおた荘とは *

～誰でも来られる集いの場～

2018年6月いろんな人が集って楽しむための拠点をつくる

- ・ 解除になった当初、気軽に集まる場所が全くなかった
- ・ 町民やボランティア、大学生、友達の友達…等々



* やってる人はこんな人 *

>>> 管理人：和泉 亘（右）

震災後、避難した人が住む復興住宅の支援を行い自治会形成、コミュニティ形成などの活動を実施。2018年2月に浪江町に移住。

>>> 副管理人：小林 奈保子（左）

2017年3月まで田村市で復興支援員として被災地域の支援活動。浪江町役場職員と結婚して2017年4月から浪江町に移住し一町民として活動中。



* 任意団体「なみとも」とは *

目的：町民と若者の交流の場づくり

- ・元の地域コミュニティは崩壊している
- ・浪江に関心の高い若者がたくさん来る
- ・お互いをつなぎまずは友達から！
- ・2名+ α で活動中。この+ α が大事



〈楽しい！がモットー〉

まずは、**自分**が楽しく！！

そして一緒にいる人とも楽しく！！

そしたら何か生まれるかも。

